

別記様式第3号の2（第10条の2関係）

土砂災害特別警戒区域に係る対策工事状況報告書

年 月 日

東 広 島 市 長
（ 建 築 主 事 ） 様
指定確認検査機関

工事監理者 住 所

氏 名

（ ） 建築士 （ ） 登録 第 号

（ ） 建築士事務所 （ ） 知事登録第 号

電話番号（ ） -

次のとおり、建築基準法施行令第80条の3の規定に適合させるための対策の状況について、報告します。

なお、この報告に係る設計の内容のとおり、工事監理者として適正に工事監理を行っています。

1 土砂災害特別警戒区域における土砂災害の発生原因となる自然現象の種類	☐ 急傾斜地の崩壊 ☐ 土石流 ☐ 地滑り			
2 土砂災害特別警戒区域の復元の方法	☐ 公示図面の2,500分の1区域図により図面上に復元 ☐ 基礎調査調書の座標を測量図以外の図面上に復元 ☐ 基礎調査調書の横断面図により図面上に復元 ☐ 基礎調査調書の座標を現地復元し、及び測量して図面上に復元 ☐ 基礎調査調書の座標を既存の測量図上に復元 ☐ その他（ ）			
3 土砂災害特別警戒区域内に建築物が存するか	☐ 存する。 ☐ 存しない（4から6までの記入は、不要）。			
4 土砂災害対策の方法	☐ 建築物本体の外壁等 ☐ 門又は塀、土留め擁壁等 ☐ その他（ ）			
5 建築物に作用する土石等の力	移動する土石等		堆積する土石等	
	最大の力の大きさ	kN/m ²	最大の力の大きさ	kN/m ²
	高さ	m	高さ	m
6 5の土砂災害対策に係る各部材の寸法、鉄筋量等の決定の方法	☐ 平成13年国土交通省告示第383号の仕様規定による。 ☐ 構造計算による（限界耐力計算を含む。）。			
この報告に係る建築物は、建築主と協議の上、上記により設計し、建築基準法施行令第80条の3の規定に適合しています。 設計者 氏 名 （ ） 建築士 （ ） 登録 第 号 （ ） 建築士事務所 （ ） 知事登録第 号				

注 1 この報告に係る土砂災害特別警戒区域の区域図を添付すること。

2 不用の文字は、消すこと。

3 該当する項目の□欄に、チェックをすること